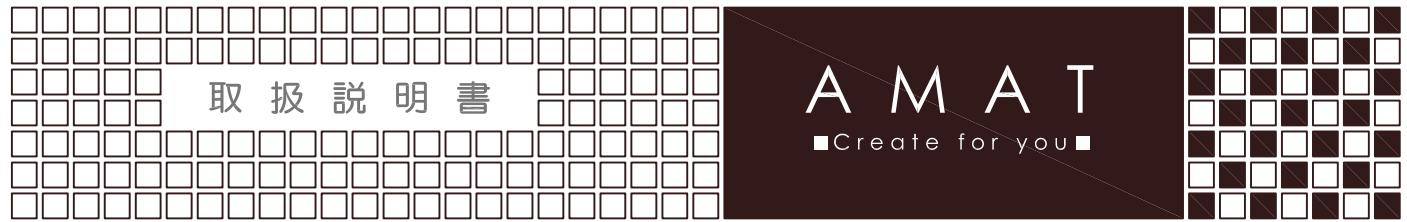


※戸当り用パンポン予備材※



安全上のご注意

- ご使用の前に、この【取扱い説明書】をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 安全にお使いいただくために重要な内容を記載しております、必ずお守りください。
- お読みいただいた後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。正しくご使用になられなかった場合の製品の故障、事故につきましては当社は責任を負いかねますので、予めご了承ください。

- 誤った使い方をしたときの危険の程度と内容を、下記の警告と注意に分けて説明しています。



警告

死亡や重症を負う
可能性があります



注意

軽症を負ったり、物品に
損害が出る可能性があります

- 文章の内容をわかりやすくするため、下記の記号を使って説明しています



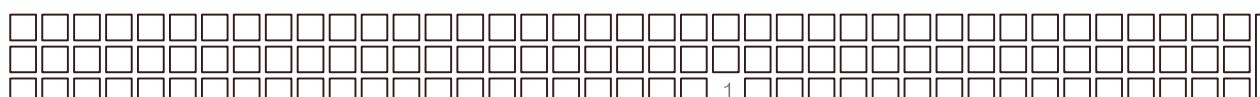
してはいけないことを
示します



必ず守ることを
示します



注意することを
示します





警告

【 製品全般 】



- 乗らない
- ぶら下がらない
- 無理な力をかけない

● 思わぬケガ・落下・破損の原因



- 耐荷重を守る
(⇒6ページの各製品の耐荷重を参照)

● 思わぬケガ・落下・破損の原因



- 分解・改造をしない

● 思わぬケガ・落下・破損の原因



- 水をかけない

● 破損・漏電・感電・火災の原因

水ぬれ禁止



- 本製品は可燃物のため、火のついたタバコなどを直接置かない

● 火災の原因



- 本製品に収納できる家電は制限があります
電気コンロ・電熱器・ガスコンロ
ガス炊飯器など熱源が露出した器具
電気ドライヤーは使わない

● 火災の原因



- 家電製品は取扱説明書にある設置寸法のすき間をあける

● 火災の原因

【 吊戸棚 】



必ず守る

- 重いものを乗せない

*吊戸棚に重いものを収納する場合は専用設計になります。

予め用途をご指定頂いていない場合棚及び棚板1箇所あたり 7.5kg 以上の物は乗せないでください。

- 体重をかけない

● 思わぬケガ・落下・破損の原因

☆特に吊戸棚の取扱いは、大事故につながる危険がございますのでご注意ください！

【 棚板 】



必ず守る

- 棚受けのダボはしっかりと最後まで差し込み、抜け落ちないようにする

● 思わぬケガ・落下・破損の原因

【 スライド棚 】



禁止

- スライド棚を作業台として使わない

● 思わぬケガ・破損の原因



必ず守る

- スライド棚を収納したまま炊飯器等蒸気の出る家電製品を使わない

● 破損・漏電・感電・火災の原因



必ず守る

- スライド棚を収納するときは、家電製品のコードをはさまない

● 破損・漏電・感電・火災の原因



警告

【2口コンセント・LEDダウンライト】



ぬれ手禁止

- ぬれた手で触らない
- 破損・漏電・感電・火災の原因



禁止

- 蒸気のでるものや湿気の多いものを近くに置かない
- 破損・漏電・感電・火災の原因



禁止

- 布や紙など燃えやすいものをかぶせたり近くに置かない
- 火災の原因



禁止

- スプレー缶やシンナーなど揮発性のものをかけたり近くに置かない
- 爆発・火災の原因



必ず守る

- LEDダウンライトと収納品は10cm以上すき間をあける
- 火災の原因



必ず守る

- 2口コンセントはワット合計が1500W以下で使用する
- 火災の原因



必ず守る

- 2口コンセントの差込口のほこりを定期的に掃除する
- 火災の原因



注意

【製品全般】



必ず守る

- 収納物はゆっくり置く
- 収納物をひきずらない
- 熱いもの置かない
- ぬれたものを収納しない
- 冷暖房の風を近くであてない
- 直射日光に長時間あてない
- 扉内部で電化製品を使用しない
- よごれたまま放置しない
- キズ・カビ・変色・変形などの原因

【扉・引出】



禁止

- 開けたままにしない
- 開閉範囲以上に開けない
- 思わぬケガ・破損の原因



注意

- 開閉するときにまわりに人がいないか注意する指を挟まないように注意する
- つめが長いときは開閉に注意する
- 思わぬケガの原因

【その他】



必ず守る

- ハンガーパイプのソケットはしっかり差しこむ
- 思わぬケガ・破損の原因



注意

- 耐震ラッチは、震度約4以上の地震により搖れが発生すると自動的に扉がロックされます。搖れが止まると、自動的にロックは解除されます。
- ※震度・搖れ方などの状況により、稀に感知出来ない地震もございますので地震からお客様の安全を保障するものではございません。

【お願い】

- キャビネットには水などをこぼさないでください。
キャビネットに水が掛った時は、早めにふき取ってください

キャビネットの基材は木製ですので、表面材の剥がれや劣化の原因となります。

- カウンターの上に硬い物や鋭利な物をぶつけたり、こすったりしないでください。

キズ・変形・カケの原因になります。

- カウンターをまな板がわりには使わないでください。

キズ・カケの原因になります。

- カウンターの上には、次のようなものを付着させないでください。

- ・強酸、強アルカリ性の洗剤や薬品類
- ・ベンジンなどの有機溶剤
- ・塗料、マニュキュア、徐光液、インク、毛染液、うがい薬、ヨードチンキ
- ・漂白剤、ヘアトニック等の原液

変色・表面塗膜の劣化・サビ等の原因となります。

- キャビネット内では塩素系の薬品・洗剤類の保管に注意してください。

- ・塩素系の薬品・洗剤類を収納する場合は、キャップを確実に閉めて
内容物がこぼれないようにしてください。
- ・キャビネットや棚板に付着した場合はすぐにふき取ってください。

塩素系ガスが発生すると、丁番のサビや動作不良の原因となります。

- 扉、引き出しの裏等に接着している戸当り用バンポンは消耗品のため
使用しているうちに外れてしまう場合がございます
取れてしまった場合は表紙についている予備材をお取り付けください。

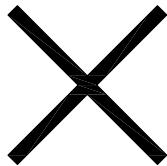
【お手入れ方法】

■お手入れに必要なもの



- ・中性洗剤
- ・柔らかい布
- ・柔らかいスポンジ

■使ってはいけないもの



- ・シンナー、ベンジンなどの溶剤
- ・酸性、アルカリ性、塩素系洗浄剤、漂白剤
- ・ワックス、オイル
- ・研磨剤入りのスポンジ
- ・たわし・金属たわし
- ・粒子の粗いクレンザー

●日常のお手入れ

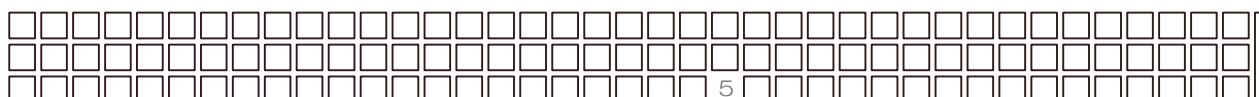
- ・時々扉を開けて、内部を換気する。
- ・柔らかい布でやさしく、からぶきする。
- ・水でぬらした布を固く絞り、軽くふく。
- ・その後別の乾いた布でやさしく、からぶきする。
- ・隅にたまつたゴミはブラシで掃きだしてください。

●汚れがひどいとき

- ① 中性洗剤や薄めた台所用洗剤を布に含ませ、固く絞り、軽くふきとる。
- ② 洗剤が残らないように、水ぶきでふきとる。
- ③ 別の乾いた布でやさしく、からぶきする。

○人造大理石カウンタートップのお手入れ

- ・スポンジか、湿った布に台所用の中性洗剤をつけて汚れを落として水を含んだ布で洗剤をふき取り、最後に乾いた布で拭いて下さい。
- ・落としにくい汚れは、台所用クリームクレンザーを用いて磨いて下さい。

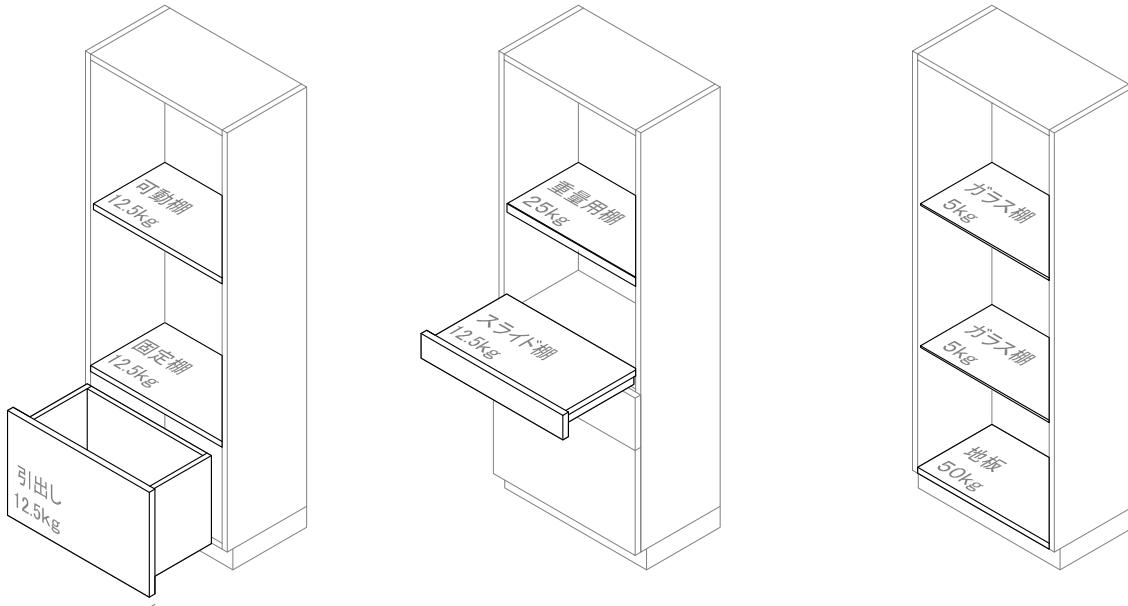


各製品の耐荷重

【床から立ち上がっている製品】

◎該当条件：W950・D600まで (条件を超えたプランの場合は、基準値未満の耐荷重となります)

- 可動棚：12.5kg
 - 固定棚：12.5kg
 - 引出し：12.5kg
 - 重量用棚：25kg
 - スライド棚：12.5kg
 - ガラス棚：5kg
 - 地板：50kg



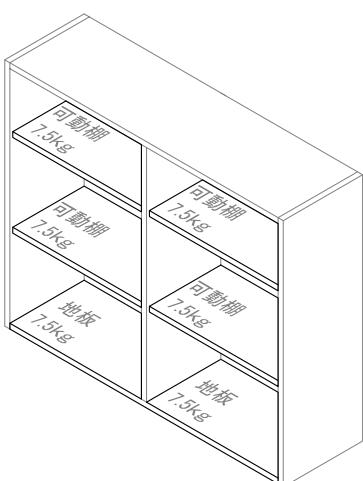
〔吊戸棚〕

◎ 該当条件：1BOXにつき W950・D450・H900まで

(条件を超えたプランの場合は、基準値未満の耐荷重となります)

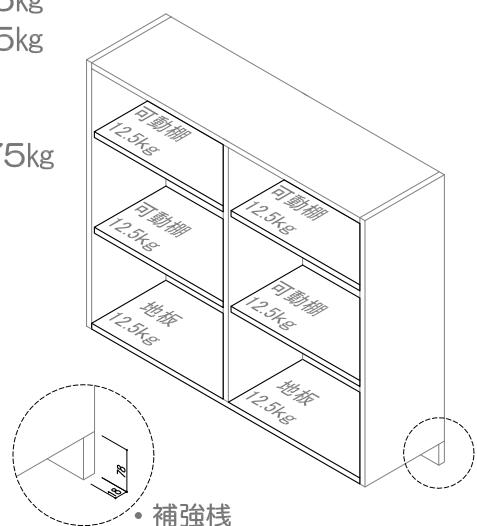
○通常の吊戸棚

- 可動棚：7.5kg
 - 地板：7.5kg
 - 全体の耐荷重
75kg-45kg



☆重量に配慮した設計の吊戸棚

- 可動棚：12.5kg
 - 地板：12.5kg
 - 全体の耐荷重
 $12.5 \times 6 = 75\text{kg}$



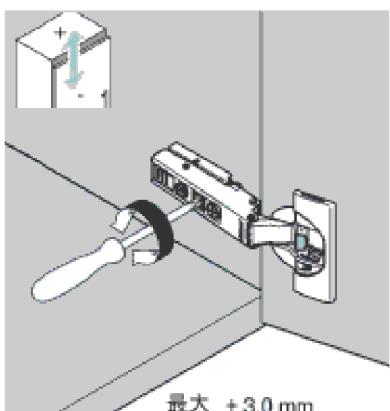
※上記の耐荷重は、収納物を均等に置いて、静止したときの耐荷重の目安です。

収納物を片寄せて置いたり、バランスの悪い収納物を置いたときは、耐荷重以下になることがあります。

収納物を勢いよく置くと、何倍もの重さがかかり破損の原因になりますのでご注意ください。

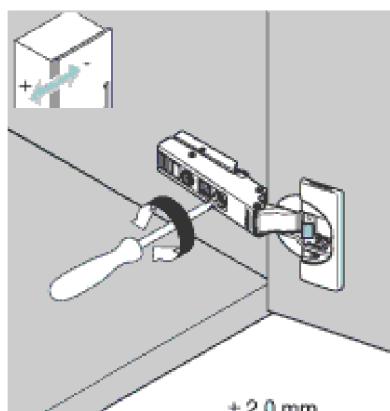
扉の調整

■上下調整 (中央のネジ)



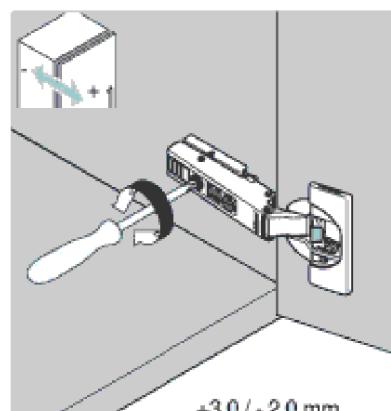
【左まわし】 【右まわし】
右扉：下移動 右扉：上移動
左扉：上移動 左扉：下移動

■左右調整 (手前のネジ)



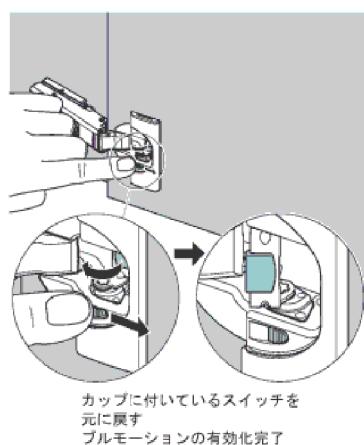
【左まわし】 【右まわし】
右扉：左移動 右扉：右移動
左扉：右移動 左扉：左移動

■前後調整 (奥のねじ)

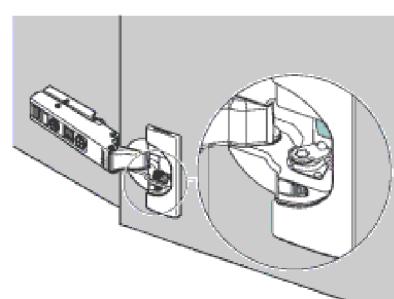
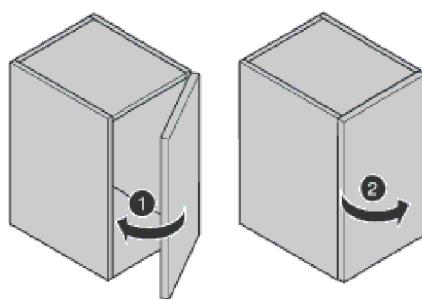
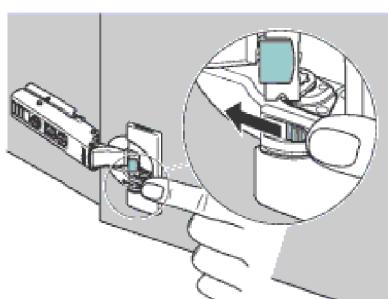


【左まわし】 【右まわし】
左右扉共通 左右扉共通
前移動 後ろ移動

内臓式ソフトクローズダンパーの有効化



内臓式ソフトクローズダンパーの解除

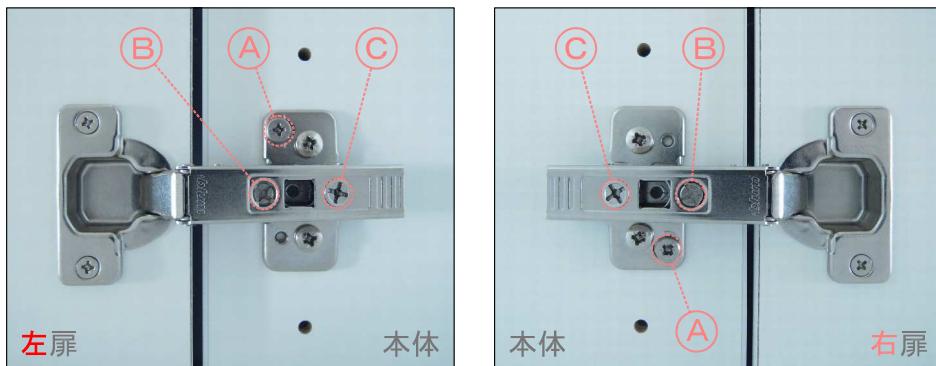


小さい/軽い扉用にブルモーション解除スイッチ

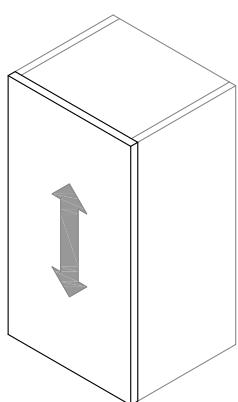


旧タイプ丁番の扉調整

◎ ~2013年 2月まで納品の商品と、一部アルミフレーム扉の商品



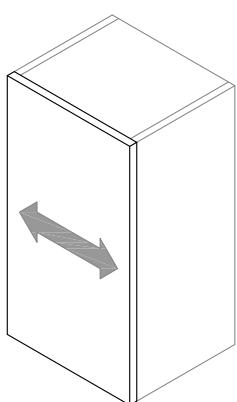
■ 上下調整



【右まわし】
右扉：上移動
左扉：下移動

【左まわし】
右扉：下移動
左扉：上移動

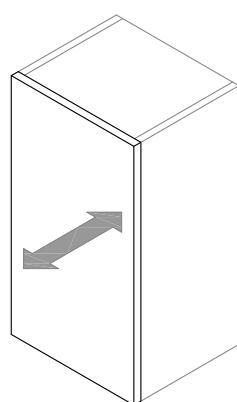
■左右調整



【右まわし】
右扉：右移動
左扉：左移動

【左まわし】
右扉：左移動
左扉：右移動

■ 前後調整



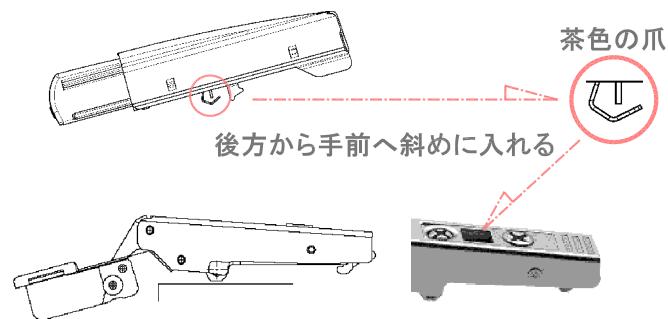
【右まわし】
左右扉共通
後ろ移動

【左まわし】
左右扉共通
前移動

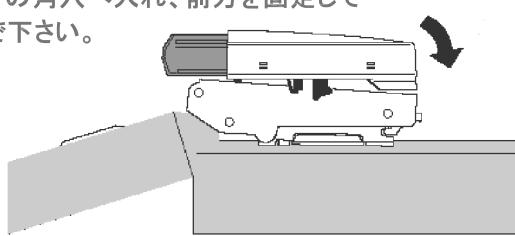
脱着式ソフトクローズダンパーの脱着

◎ ~2013年 2月まで納品の商品と、一部アルミフレーム扉の商品

取り付け方

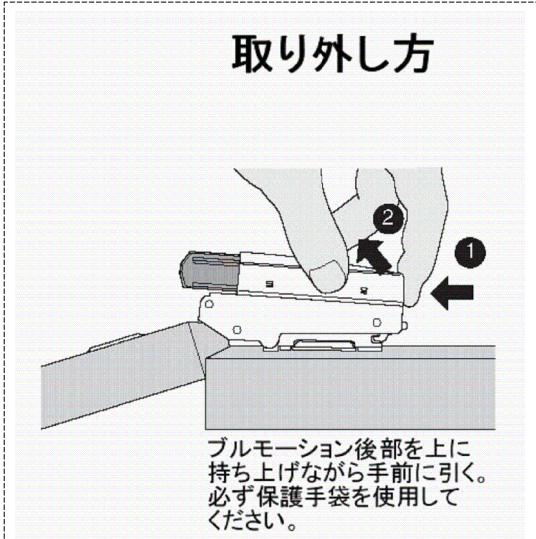


茶色の爪をヒンジの角穴へ入れ、前方を固定して後方を押し込んで下さい。



上から少し押すと取付完了
簡単に外れたりしないことを
確認してください。

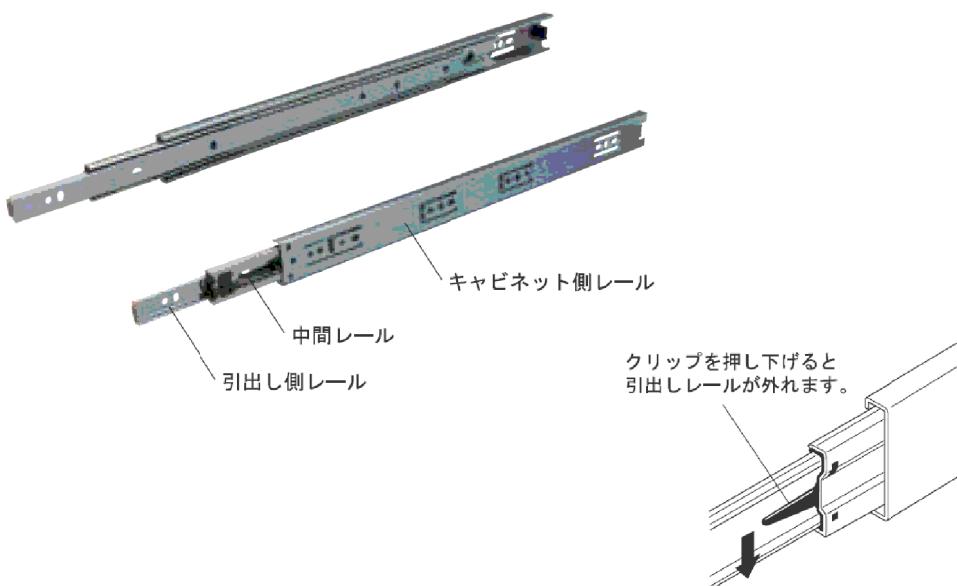
取り外し方



ブルモーション後部を上に
持ち上げながら手前に引く。
必ず保護手袋を使用して
ください。

引出しの取り外し方

◎ペアリングレール(ソフトクローズしないタイプ)

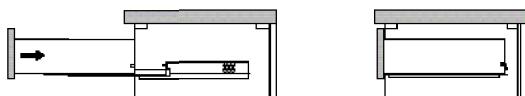


- ゴムダンパーの作用で引出しの出し入れがソフトです。
- 引出しレールはワンタッチで簡単に外せます。（上図参照）

引出しの取り外し方

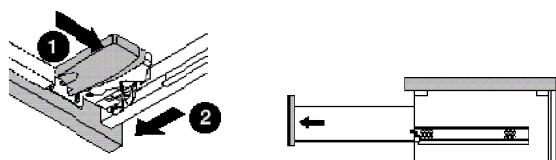
◎ブルモーションレール(ソフトクローズタイプ)

引出の入れかた



引出をレールにのせて押すだけです。カチャという音を確認してください。

引出のはずしかた



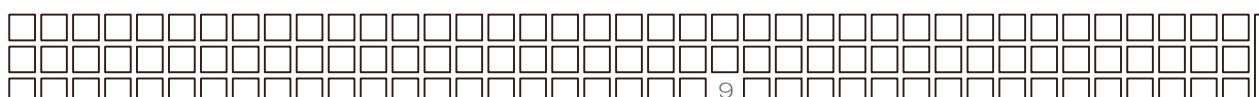
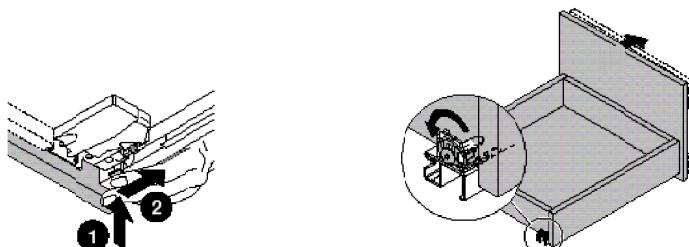
引出の裏に付いている左右の着脱クラッチのオレンジ色のレバーを同時に外側へ押すと
引出がはずせます。



調整

前板の高さ調整（レバーを引く）

前板の傾き調整（レール先端のレバーを回す）



保証書

本書は下記保証規定に基づき、下記保証期間内で無料修理を行うことをお約束するものです。
表記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示の上、修理ご依頼ください。

品名	システム収納家具	
案件番号		
家具取付日	年	月
保証期間	家具取付日から1年間（※）	

保証規定

1) 保証期間

保証期間は、上記の家具取付日から定める期間内といたします。なお、建築設備・機器など、メーカー保証のあるものについては当該メーカーの定める保証期間といたします。※（但し、家具取付日からご入居まで期間がある場合、1か月間を限度とし保証期間を延長するものといたします。）

2) 証期間内の補修等

当社の完工後、正常な使用状態・環境下で、当社の責任に起因する施工部位・造作物等の故障・不具合は、無償にて補修、交換、取替をさせていただきます。

3) 免責事項

- 取扱上の不注意、誤用による故障及び破損。
- 当社以外による修理、改造等に由る故障及び破損。
- 火災、地震、水害、落雷、その他天災等の不可抗力によるもの。
- 公害、塩害、異常電圧、害虫（当社施工外）等の環境によるもの。
- 摩耗、汚れ、褪色、変色、乾燥等の材料の自然特性や通常の経年変化によるもの。
- 設置場所の変更、転居、引越等による故障及び破損。
- 本保証書が不備な場合。

4) 保証期間終了後の当社のメンテナンスサービス

当社のメンテナンスサービスによる補修や軽微な工事は無償により受けたまわります。ただし、メンテナンスサービスに関して、必要とする材料（商品・部材）は有償扱いになります。

- 材料の調達に際して同品番・同種類が困難な場合は、機能を損なわない範囲で代替えを使用する場合があります。
- メーカーの出張費・工事代金は、合わせて有償扱いになります。

5) 注意事項

保証書は大切に保管ください。また、万一紛失された場合、再発行はお断りする場合がございます。

なお、工事完工後定期点検（工事後フォローメンテナンス）も実施させていただいております。ぜひご利用頂きますようお願い申し上げます。

AMAT
■Create for you■

株式会社 伸晃 AMAT事業部
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前2-7-15 アンシャンテ1F
TEL:03-5413-3003 FAX:03-5413-3005